

# 新型コロナウイルス感染症のクラスター事例から ①



確認月	集団感染例	主たる保健所	種類	教訓
2月	①病院 (クラスター5名+家族6名)	湯浅	院内感染	・接触感染予防・手指消毒の重要性 ・入院時の病棟管理に注意必要 ・全職員、外来等の検査により県民に安心感を与えた
4月	②学校 (クラスター8名+家族6名)	岩出	職場内感染	・無症状者から感染拡大につながる ・閉鎖空間での呼気を伴う行動を避ける
4月	③デイサービスセンター (クラスター5名)	橋本	在宅福祉サービス	・高齢者の症状の出現はわかりにくい
7月	④競輪場 (クラスター5名+家族4名)	和歌山市	スポーツ選手間感染	・閉鎖空間での呼気を伴う激しい運動は感染拡大に繋がる
7月	⑤訪問介護・入浴サービス (クラスター5名+家族6名)	和歌山市	在宅福祉サービス	・家族内に有症状者がいる場合も業務に従事しない ・在宅では複数の事業者の福祉サービスを受けていることに留意する
8月	⑥ダイニングバー (クラスター13名+家族等13名)	田辺	飲食店内感染	・来客の若者が夜遅くまで飲食やカラオケで集団感染になり、それが家族や友人さらには施設内感染に繋がる
10月	⑦スナック (クラスター9名+家族等5名)	御坊	飲食店内感染	・夜のカラオケ・飲食で発症前の感染者から集団感染になった。換気が悪いところは要注意 ・発症3日前の無症状感染者から感染が拡大
11月	⑧居酒屋 (クラスター9名+家族等11名)	橋本	飲食店内感染	・換気が悪い居酒屋内で感染が拡大。顔見知りの来店者との会話なども注意必要 (2人客、3人客は全て感染。5人客のうち1人感染)
11月	⑨デイサービス (クラスター9名+家族2名)	和歌山市	在宅福祉サービス	・従業員から利用者に感染。発熱だけがコロナの初発症状ではないため、熱がなくても体調不良者も業務に従事させないことが重要
11月	⑩カラオケ (クラスター8名+家族等8名)	橋本	高齢者の余暇活動	・発症3日前に自宅で3時間カラオケ練習し、発症2日前にホールでカラオケ大会に出演 ・基礎疾患を持っている高齢者は感染すると重症化しやすい
11月	⑪会議 (クラスター5名+家族等6名)	和歌山市	施設内感染	・広くない会議室で換気不十分な状態で2時間休憩なく会議をし、コーヒーを飲食したことで感染したと考えられる。会議では換気、ディスタンス、時間短縮、飲食しないことが重要

# 新型コロナウイルス感染症のクラスター事例から ②



確認月	集団感染例	主たる保健所	種類	教訓
11月	⑫ 労務宿舎 (クラスター10名)	海南	寄宿舍内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・食堂、トイレ、風呂を共有する共同生活を行っている者のうち2階に居住する22名中10名感染</li> <li>・早期発見、早期入院による隔離で感染拡大を防ぐことができることを再認識</li> </ul>
12月	⑬ 大学生間飲食 (クラスター5名)	和歌山市	大学生間感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大学祭に代わるイベント後に集団で飲食。発症1日前の感染者から拡大。18名中5名感染</li> </ul>
12月	⑭ 友人間飲食 (クラスター6名+家族2名)	和歌山市	友人間感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マンションの一室で鍋を喫食して全員感染。発症2日前の感染者から感染拡大</li> </ul>
12月	⑮ 販売イベント (クラスター18名+家族等5名)	岩出	従業員、客間感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・密集傾向のある換気が悪い屋内で、高齢者等を集めて講話+販売を行ったことにより感染拡大</li> <li>・客は何度もここを利用しており感染者が増加したと思われる</li> </ul>
12月	⑯ 病院 (クラスター8名+家族4名)	橋本	院内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・病棟勤務の看護師から同僚に感染。夜勤等看護体制が手薄な状況で感染拡大と推察</li> <li>・院内PCRで迅速に全員の検査ができたことから更なる感染を防御できた</li> <li>・看護師は、使命感から多少体調不良でも勤務することが後に感染拡大に繋がる危険性がある</li> <li>・患者に酸素投与時には感染予防対策を強化する</li> </ul>
12月	⑰ 工場の作業場 (クラスター5名)	和歌山市	職場内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・防塵マスクを着用する製造工場の作業場でマスクを外して会話、風呂の共同使用</li> </ul>
1月	⑱ サービス付き高齢者向け住宅 (クラスター9名+家族1名)	和歌山市	高齢者施設感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入浴介助ではマスクを外していたことから感染したと推定</li> </ul>
1月	⑲ 住宅型有料老人ホーム (クラスター15名)	和歌山市	高齢者施設感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・別のデイサービスを利用していた感染者が、他施設のショートステイを利用したことで施設職員と入所者に感染拡大</li> <li>・高齢者は認知症や基礎疾患があり重症化に繋がった</li> </ul>
1月	⑳ 会社内事務所 (クラスター14名+家族4名)	海南	職場内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・感染していた経営者がマスクをしないで会話したことで感染拡大</li> </ul>
1月	㉑ バー (クラスター11名+家族等14名)	和歌山市	飲食店内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・狭い換気が悪い夜の飲食店で飲食・カラオケをしたことで客や従業員が感染し、さらに従業員から別の日に来店した客に感染拡大したと考えられる</li> </ul>
1月	㉒ 幼稚園 (クラスター8名+家族等2名)	田辺	施設内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・マスクなしで朝礼等会話をして職員に感染。園児が感染した職員の近くで食事したことから感染</li> </ul>

# 新型コロナウイルス感染症のクラスター事例から ③



確認月	集団感染例	主たる保健所	種類	教訓
2月	㉓病院 (クラスター9名)	和歌山市	院内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・4人部屋に入院してきた患者が入院日の深夜に発病し、同室患者に感染拡大</li> <li>・夜間に看護体制が手薄な状況で、手指消毒等が不十分になったことが考えられる。また、初発者が咳があったことから、それが同室者に感染が広がった要因として加わったことも考えられる</li> <li>・感染が拡大した病棟は、基礎疾患がある高齢者が多く、排尿・排便介助などが必要な患者が入院しており、そこに急性疾患の患者が入院してきたことから人手不足となり、さらに感染対策が不十分になった可能性がある。</li> <li>・無症状の新たな入院患者に対し、入院時抗原定性検査などスクリーニングを検討する</li> </ul>
2月	㉔保育所 (クラスター10名+家族等8名)	岩出	施設内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・発症前に生活発表会があり、家族等を含めいつもより大勢の人が集まったことが感染の機会となった可能性がある</li> <li>・小児はコロナの症状が軽微なことが多く注意が必要</li> <li>・小児から保護者への感染が確認されるなど感染性が高まっている可能性が考えられる</li> </ul>
2月	㉕住宅型有料老人ホーム (クラスター6名)	和歌山市	高齢者施設感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者が共同生活を送っている施設に従事する職員は感染対策を十分実施し、ウイルスを施設内に持ち込まないことが重要</li> </ul>
2月	㉖介護付き有料老人ホーム (クラスター11名+家族1名)	和歌山市	高齢者施設感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入居している高齢者が感染したことが判明した場合、職員だけでなく実習生など外部の人が関わっている場合は、症状の有無にかかわらず全員の検査を迅速に実施することが重要</li> <li>・施設においては、実習生受け入れ時に健康チェックはもちろんのこと症状があれば軽微でもPCR検査等が必要</li> </ul>
2月	㉗病院 (クラスター18名+家族2名)	和歌山市	院内感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・入院中の患者が感染していたことから、患者→医療従事者→医療従事者→患者と感染が拡大したことが考えられる。</li> <li>・職員は軽微な症状でも積極的にPCR検査等を実施する。また、有症状者は勤務しないことを徹底する。</li> <li>・感染性が高いことが考えられる状況において、濃厚接触者の医療従事者の勤務について検討必要</li> </ul>

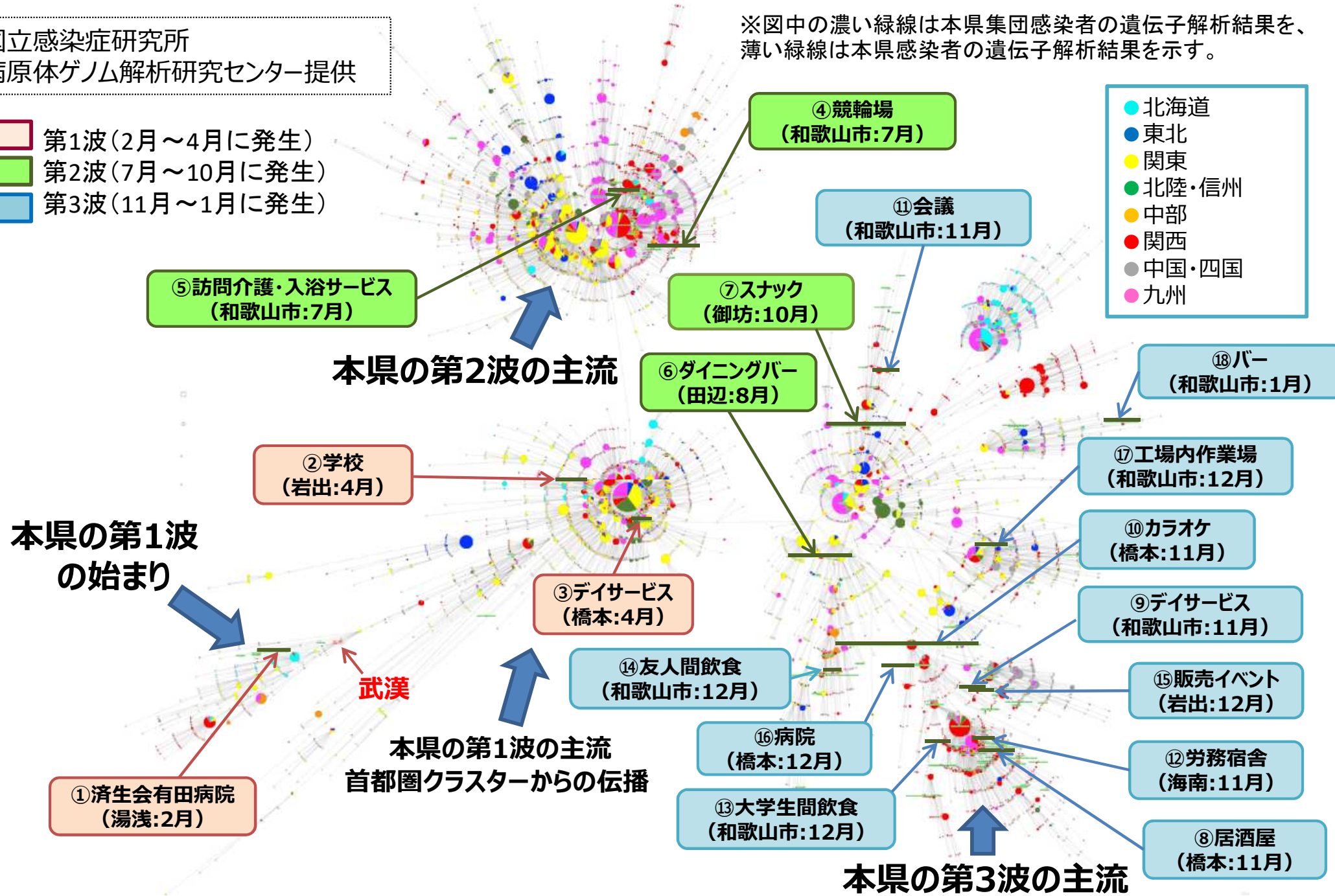
# 新型コロナウイルスのゲノム解析（主なクラスター発生事例）

国立感染症研究所  
病原体ゲノム解析研究センター提供

- 第1波（2月～4月に発生）
- 第2波（7月～10月に発生）
- 第3波（11月～1月に発生）

※図中の濃い緑線は本県集団感染者の遺伝子解析結果を、薄い緑線は本県感染者の遺伝子解析結果を示す。

- 北海道
- 東北
- 関東
- 北陸・信州
- 中部
- 関西
- 中国・四国
- 九州



⑤訪問介護・入浴サービス  
(和歌山市:7月)

④競輪場  
(和歌山市:7月)

⑪会議  
(和歌山市:11月)

⑦スナック  
(御坊:10月)

⑱バー  
(和歌山市:1月)

本県の第2波の主流

⑥ダイニングバー  
(田辺:8月)

⑰工場内作業場  
(和歌山市:12月)

②学校  
(岩出:4月)

本県の第1波  
の始まり

⑩カラオケ  
(橋本:11月)

③デイサービス  
(橋本:4月)

⑨デイサービス  
(和歌山市:11月)

本県の第1波の主流  
首都圏クラスターからの伝播

⑭友人間飲食  
(和歌山市:12月)

⑮販売イベント  
(岩出:12月)

①済生会有田病院  
(湯浅:2月)

⑯病院  
(橋本:12月)

⑫労務宿舎  
(海南:11月)

⑬大学生間飲食  
(和歌山市:12月)

⑧居酒屋  
(橋本:11月)

本県の第3波の主流

武漢

# ハプロタイプ・ネットワーク図(第3波のクラスターを中心として)

